

具体的対応方針の再検証の要請について

1 概要

国は、公立・公的医療機関等の役割が当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか、合意された具体的対応方針を検証し、地域医療構想の実現に必要な協議を促進するため、すべての医療機関(民間を含む)の診療実績データを分析し、「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」(以下、「再検証対象医療機関」という)を 2019 年年央までに公表することとしており、今般、再検証対象医療機関名が公表されたもの。

2 再検証対象医療機関名(対象:18病院/39病院(宮城県立循環器・呼吸器病センター除く))

1	国民健康保険蔵王病院	2	国民健康保険丸森病院	3	塩竈市立病院
4	栗原市立若柳病院	5	栗原市立栗駒病院	6	大崎市民病院 岩出山分院
7	大崎市民病院 鳴子温泉分院	8	公立加美病院	9	涌谷町国民健康保険病院
10	美里町立南郷病院	11	石巻市立病院	12	石巻市立牡鹿病院
13	登米市立米谷病院	14	登米市立豊里病院	15	南三陸病院
16	独立行政法人地域医療 機能推進機構(JCHO) 仙台南病院	17	独立行政法人 国立病院機構 仙台西多賀病院	18	独立行政法人 国立病院機構 宮城病院

※斜体(16～18)は公的医療機関等

3 公表される理由

(1) 診療実績が特に少ない(9 領域)

①がん ②心疾患 ③脳卒中 ④救急 ⑤小児 ⑥周産期 ⑦災害 ⑧へき地 ⑨研修派遣機能

(2) 類似かつ近接

類似: 6 領域(上記①～⑥)において類似

近接: 自動車で概ね 20 分以内

4 スケジュール

(1) 9 月 26 日(木)国のワーキング:具体的対応方針の再検証の要請病院を公表

(2) 令和元年度第 1 回調整会議にて情報提供【10～11 月】

(3) 令和元年度第 2 回調整会議にて協議①【1～2 月】

(4) 令和 2 年度調整会議にて協議②【8 月頃】

(5) 国への回答期限:①再編統合なし 2020 年3月まで ※調整会議でまとめる必要あり
②再編統合あり 2020 年9月まで ※調整会議でまとめる必要あり

○具体的対応方針の再検証の要請について(R1. 9厚生労働省公表)

構想区域	医療機関名称	再検証要請対象医療機関	合計病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等病床数	稼働率（高度急性期・急性期病床）	A 診療実績が特に少ない								A B 類似かつ近接								B	備考	
										がん	心筋梗塞等の心血管疾患	脳卒中	救急医療	小児医療	周産期医療	災害医療	へき地医療	研修・派遣機能	該当数	がん	心筋梗塞等の心血管疾患	脳卒中	救急医療	小児医療	周産期医療	該当数		
仙南	蔵王町国民健康保険蔵王病院	●	38	0	10	0	28	0	93%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		
仙南	みやぎ県南中核病院		310	26	284	0	0	0	71%					●					1							0		
仙南	公立刈田綜合病院		308	0	257	51	0	0	61%		●	●		●	●		●	●	6		●	●		●	●	4		
仙南	丸森町国民健康保険丸森病院	●	90	0	55	35	0	0	75%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		
仙台	東北大学病院		1,185	788	397	0	0	0	80%								●		1		●	●	●	●	●		4	
仙台	仙台厚生病院		409	178	231	0	0	0	111%			●		●	●	●	●		5			●	●	●	●	●	4	
仙台	宮城県立がんセンター		383	0	383	0	0	0	68%		●	●	●	●	●	●	●	●	8		●	●	●	●	●	●	5	
仙台	独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院	■	200	0	160	40	0	0	62%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
仙台	独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院	■	480	0	90	100	290	0	71%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
仙台	独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院		428	0	418	0	0	10	75%		●	●		●	●	●	●		6	●	●	●	●	●	●	●	6	
仙台	独立行政法人国立病院機構 宮城病院	■	344	0	60	44	240	0	72%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		
仙台	独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院		548	8	496	44	0	0	82%		●	●		●	●		●		5	●	●	●	●	●	●	●	6	
仙台	宮城県立こども病院		241	52	189	0	0	0	71%	●	●	●	●			●	●	●	7	●	●	●	●	●			4	
仙台	国家公務員共済組合連合会東北公済病院		385	0	305	80	0	0	78%		●	●	●	●		●	●		6		●	●	●	●	●		4	
仙台	公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院		357	6	305	46	0	0	98%					●			●		2	●	●		●	●	●		5	
仙台	公立黒川病院		170	0	110	60	0	0	69%	●	●	●	●	●	●	●		●	8		●	●	●	●	●	●	5	
仙台	東北医科薬科大学病院		420	8	412	0	0	0	80%			●		●	●		●		4	●	●	●	●	●	●	●	6	
仙台	塩竈市立病院	●	161	0	81	42	38	0	84%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
仙台	仙台赤十字病院		389	41	298	50	0	0	54%	●	●	●					●		4	●	●	●	●	●	●		5	
仙台	仙台市立病院		467	467	0	0	0	0	79%		●						●		2	●	●	●		●	●		4	
仙台	公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院		320	18	302	0	0	0	78%			●		●	●		●		4		●	●	●	●	●	●	5	
仙台	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター		650	650	0	0	0	0	79%								●		1		●		●	●			3	
大崎・栗原	宮城県立循環器・呼吸器病センター	●	90	0	90	0	0	0	19%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5	H31.3閉院	
大崎・栗原	栗原市立若柳病院	●	120	0	90	0	30	0	74%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		
大崎・栗原	栗原市立栗原中央病院		300	0	200	50	50	0	74%	●		●		●	●		●		5			●		●	●	3		
大崎・栗原	大崎市民病院岩出山分院	●	40	0	40	0	0	0	69%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
大崎・栗原	公立加美病院	●	90	0	40	0	50	0	78%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
大崎・栗原	栗原市立栗駒病院	●	75	0	45	0	30	0	58%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
大崎・栗原	大崎市民病院鳴子温泉分院	●	130	0	50	40	40	0	58%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		
大崎・栗原	大崎市民病院		486	51	435	0	0	0	77%								●		1								0	
大崎・栗原	美里町立南郷病院	●	50	0	50	0	0	0	73%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
大崎・栗原	涌谷町国民健康保険病院	●	121	0	80	0	41	0	74%	●	●	●	●	●	●	●		●	8	●	●	●	●	●	●	●	6	
石・登・気	気仙沼市立病院		404	0	359	0	0	45	73%			●		●			●		3						●		1	
石・登・気	石巻市立牡鹿病院	●	25	0	25	0	0	0	29%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		
石・登・気	登米市立米谷病院	●	49	0	49	0	0	0	64%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
石・登・気	登米市立豊里病院	●	99	0	69	0	30	0	55%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	6	
石・登・気	登米市立登米市民病院		258	0	168	59	0	31	72%	●	●	●		●	●		●	●	7	●	●	●		●	●	5		
石・登・気	石巻市立病院	●	180	0	140	0	40	0	49%	●	●	●		●	●	●	●	●	8	●	●	●	●	●	●	●	6	
石・登・気	石巻赤十字病院		464	40	424	0	0	0	90%					●					1								0	
石・登・気	南三陸病院	●	90	0	40	0	50	0	85%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	●	●	●		●	●	5		

※「再検証要請対象医療機関」の欄、●は公立病院、■は公的医療機関

※人口100万人以上の構想区域に所在する公立・公的医療機関等は、類似の状況にある医療機関が多数に及ぶことから別に整理が必要なため、今回は「類似かつ近接」に係る再検証は要請しない。

地域医療構想の実現に向けて

令和元年 9 月 27 日

医政局

1. 地域医療構想の目的は、2025 年に向けて、地域ごとに効率的で不足のない医療提供体制を構築することです。地域医療構想の実現により、限られた医療資源をそれぞれの地域で真に活用し、次の時代に対応した医療を構築することができると思っています。
2. 地域医療構想の実現に向けては、関係者のご理解・ご協力の下、これまでも地域で議論が積み重ねられてきましたが、さらに取組を進めていく観点から、今回、高度急性期・急性期機能に着目した客観的なデータを国から提供し、改めて、それぞれの医療機関に対し、今後の医療機能のあり方を考えて頂くことといたしました。
※客観的データについては、「地域医療構想に関するワーキンググループ」における議論に基づくものです。
3. 今回の取組は、一定の条件を設定して急性期機能等に関する医療機能について分析し、各医療機関が担う急性期機能やそのために必要な病床数等について再検証をお願いするものです。したがって、必ずしも医療機関そのものの統廃合を決めるものではありません。また、病院が将来担うべき役割や、それに必要なダウンサイジング・機能分化等の方向性を機械的に決めるものでもありません。
4. 今回の分析だけでは判断しえない診療領域や地域の実情に関する知見も補いながら、地域医療構想調整会議の議論を活性化し議論を尽くして頂き、2025 年のあるべき姿に向けて必要な医療機能の見直しを行っていただきたいと思っています。その際、ダウンサイジングや機能連携・分化を含む再編統合も視野に議論を進めて頂きたいと思っています。
5. 今後、地域の医療提供体制の確保に向け、病院のダウンサイジングや統廃合が必要と地域が判断する場合には、国としても必要な支援等を行ってまいります。

- 2019年年央までに各医療機関の診療実績データを分析し、公立・公的医療機関等の役割が当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか、合意された具体的対応方針を検証し、地域医療構想の実現に必要な協議を促進。

2. 今後の取り組み

- 合意形成された具体的対応方針の検証と構想の実現に向けた更なる対策

- 今後、2019年年央までに、全ての医療機関の診療実績データ分析を完了し、「**診療実績が少ない**」または「**診療実績が類似している**」と位置付けられた**公立・公的医療機関等**に対して、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえつつ、**医師の働き方改革の方向性**も加味して、**当該医療機能の他の医療機関への統合や他の病院との再編統合**について、地域医療構想調整会議で協議し改めて合意を得るように要請する予定。

分析内容

分析項目ごとに診療実績等の一定の指標を設定し、当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか分析する。重点化が不十分な場合、他の医療機関による代替可能性があるとする。

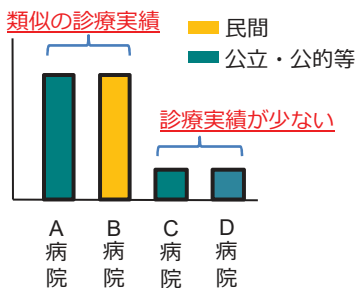
A 各分析項目について、診療実績が特に少ない。

B 各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接している。

分析のイメージ

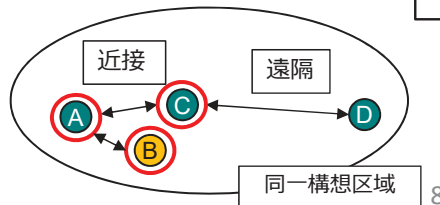
①診療実績のデータ分析

(領域等(例：がん、救急等)ごと)



②地理的条件の確認

類似の診療実績がある場合のうち、**近接**している場合を確認



①及び②により「**代替可能性あり**」とされた公立・公的医療機関等

③分析結果を踏まえた地域医療構想調整会議における検証

医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえ、**医師の働き方改革の方向性**も加味して、
○ **代替可能性のある機能の他の医療機関への統合**
○ **病院の再編統合**
について具体的な協議・再度の合意を要請



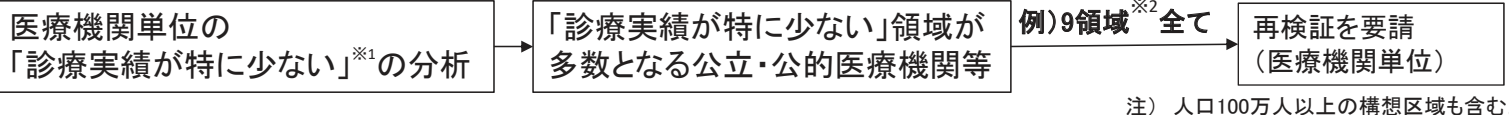
診療実績の分析と再検証の要請の流れ(イメージ)(案)について

令和元年
9月6日

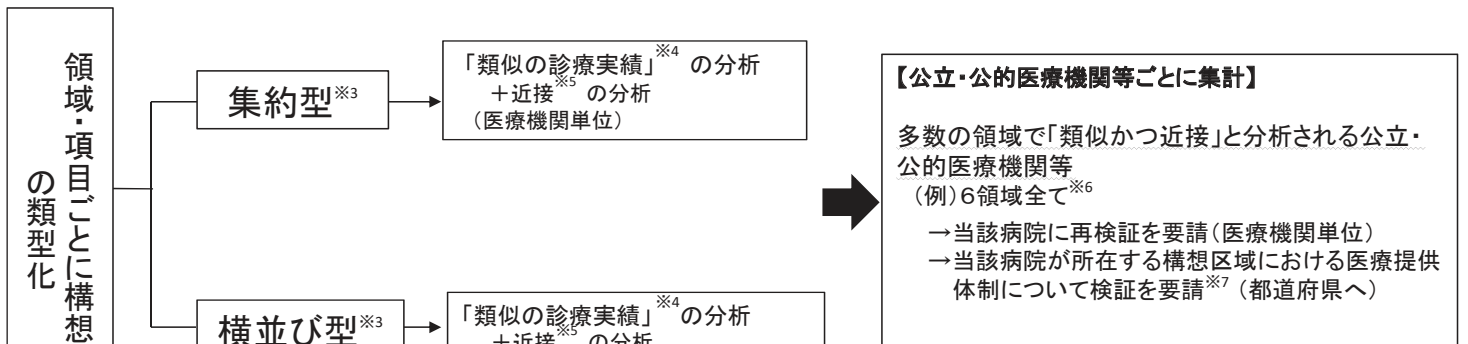
第23回 地域医療
構想に関するWG

資料2

A) 「診療実績が特に少ない」の分析(がん・心疾患・脳卒中・救急・小児・周産期・災害・へき地・研修・派遣機能の9領域)



B) 「類似かつ近接」の分析(がん・心疾患・脳卒中・救急・小児・周産期の6領域)



注) 人口100万人以上の構想区域に所在する公立・公的医療機関等は、類似の状況にある医療機関が多数に及ぶことから別に整理が必要なため、今回は「類似かつ近接」に係る再検証は要請せず、今後、必要な検討を行うこととする。ただし、分析結果は公表する。

※1 「診療実績が特に少ない」の分析を実施する方法は別紙において詳述する。

※2 「診療実績が特に少ない」領域には、実績が全く無い領域を含む。

※3 領域・項目ごとに構想区域を「集約型」、「横並び型」に分類する方法は別紙において詳述する。

※4 「集約型」及び「横並び型」ごとに「類似の診療実績」の分析を実施する方法は別紙において詳述する。

※5 医療機関同士の近接について判断する方法は別紙において詳述する

※6 実績が全く無い領域も「類似かつ近接」に準じて合計する。

※7 都道府県に対し、検証を要請する内容については、別紙において詳述する。